

令和7(2025)年度版

令和7年度
国立科学博物館 大学パートナーシップ
入会のご案内



国立科学博物館



大学パートナーシップ
ウェブサイト

はじめに

科学技術と社会が密接不可分な関係になっている今日、日頃から科学技術について興味・関心を持ち、自らの問題として意識していくことは、科学技術の健全な発展のためにも、21世紀を豊かに生きていくためにも必要です。

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」事業は、大学等学校と国立科学博物館が連携して様々な活動を展開していく事業です。常設展示の無料入館や各種講座の優先受入れ等を通じ、文系・理系を問わず全ての学生の皆様の科学リテラシー向上と豊かな感性の涵養に貢献できると考えています。

当館は「日本列島の自然と私たち」をテーマとする日本館、「地球生命史と人類」をテーマとする地球館の展示を合わせると、10,000㎡を超える展示面積を有しております。この常設展示におきましては、最新の研究成果を取り入れ、常に新しい情報を提供すべく、随時展示更新を行っております。

また令和7年度の特別展・企画展では、「古代DNA—日本人のきた道—」「気象業務150周年企画展『地球を測る』」等を開催する予定です。

平成17年度に21大学で始まった本事業は、令和7年1月現在の会員数は82件となり、令和6年4月から12月までに、延べ4万人を超える皆様が大学パートナーシップ制度を利用し入館（入園）しています。

令和6年度に実施した利用者アンケートでは、展示や大学パートナーシップ制度について好意的なご意見をたくさんいただきました。また、本事業で実施している各種講座等にも多くのご参加があり、大学パートナーシップ制度を十分活用いただけたものと考えています。

当館は、今後とも社会に根ざし、社会に支えられ、社会的要請に応える博物館として、大学をはじめとした社会の様々なセクターと連携・協働する博物館を目指して参ります。

令和7年2月

独立行政法人 国立科学博物館



国立科学博物館のロゴマークのご紹介



「想像力の入口」

全体の形は、リズムカルな放物線を描き、恐竜やサメの歯、門のように、また、個々の形は、花びらや炎が揺らめきながら広がっていくようにも見えます。このように、このマークは人々に様々な想像を促します。

国立科学博物館 大学パートナーシップのロゴマークのご紹介



Partnershipの頭文字「P」を重ね合わせ、双葉の形をデザインしました。双葉は、力強く伸びていく様子を表しています。大学と国立科学博物館の連携による大学パートナーシップ事業が発展し、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力が向上するよう願いを込めています。

連携事業のご紹介

国立科学博物館は、学生数に応じた一定の年会費を納入した入会校の学生のために、次の連携プログラムを用意いたします。

1. 常設展の無料入館と特別展の630円引



常設展

パートナーシップ入会校の学生は、学生証を提示することにより、以下の施設へ無料で何度でも入館（入園）いただけます。また、授業の一環で学生を引率して来館した教職員の方は、職員証等の提示により常設展が無料となります。

国立科学博物館（上野公園）

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20



展示面積は約11,300㎡で、科学系博物館において国内最大規模を誇ります。良質で豊富な実物標本資料を中心に、フロアごとに展示テーマを設け、常設展示のメインメッセージである「人類と自然の共存をめざして」を、体系的にわかりやすく伝えられるような展示構成を特徴としています。平成20年度には、日本館が重要文化財に指定されました。

通常入館料：630円

附属自然教育園（東京都港区）

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-5



大都市「東京」の中心部にあって今なお豊かな自然が残る、都会の中の貴重な森林緑地です。園内には、落葉樹、広葉樹、草はら、池や小川などがあり、四季にわたって様々な草花や野鳥などの生き物を身近に観察できます。また、日曜観察会、自然観察指導者研修、自然史セミナーなど、学習支援活動も行っています。

通常入園料：320円

筑波実験植物園（茨城県つくば市）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1



自然の景観と植物多様性を凝縮した約14万㎡の園内は、「世界の生態区」と「生命を支える多様性区」の2つに分けられ、約3,000種の植物が展示されています。収集保全している植物をもとに、世界の様々な植生環境を再現し、植物の多様性を体験的に学習できるような植栽展示を行っています。各種学習支援活動も行っています。

通常入園料：320円

企画展

日本館1階の「企画展示室」等にて開催する、当館の研究者が中心となって企画する展示です。常設展内の展示であり、パートナーシップ入会校の学生は無料でご覧いただけます。

令和6年度 開催例

「知られざる海生無脊椎動物の世界」

令和6年3月12日(火)～6月16日(日)

「高山植物～高嶺の花たちの多様性と生命のつながり～」

令和6年7月30日(火)～11月4日(月・休)

「貝類展：人はなぜ貝に魅せられるのか」

令和6年11月26日(火)～令和7年3月2日(日)

小惑星からのサンプルリターンー「はやぶさ」と「はやぶさ2」、そして「MMX」へー

令和6年12月17日(火)～令和7年1月13日(月・祝)

今後の開催予定

気象業務150周年企画展「地球を測る」

令和7年3月25日(火)～6月15日(日)



特別展

地球館の「特別展示室」にて開催される展示です。パートナーシップ入会校の学生は、特別展入場料(一般・大学生)から常設展示入館料630円(税込)を引いた金額でご覧いただけます(割引券との併用不可)。開館時間や休館日、入場料等の詳細は決定次第、公式サイトでお知らせします。

令和6年度 開催例

「大哺乳類展3ーわけてつなげて大行進」

令和6年3月16日(土)～6月16日(日)

「昆虫 MANIAC」

令和6年7月13日(土)～10月14日(月・祝)

「鳥ーゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統ー」

令和6年11月2日(土)～令和7年2月24日(月・休)

今後の開催予定

「古代DNAー日本人のきた道ー」

令和7年3月15日(土)～6月15日(日)



2. 各種講座等の優先的受入れと、受講料減額



サイエンスコミュニケーター養成実践講座

科学と社会との架け橋となるサイエンスコミュニケーター養成のための実践講座です。令和7年度はオンラインと対面を組み合わせる予定としております。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・入会校の学生は通常の半額で受講いただけます。

- ☐ サイエンスコミュニケーション1 (SC1) : コミュニケーション能力の育成
- ☐ サイエンスコミュニケーション2 (SC2) : コーディネーション能力の育成
- ☐ SC1、SC2の両科目を修了すると「国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター」認定証を授与

※対象は大学院生です。

※当講座を大学院の教育課程に応じて大学院の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

※開催時期、受講料、コマ数、実施方法等については令和7年4月以降に発表予定の募集要項をご確認ください。

令和6年度の実施例



(SC1 : 受講者によるディスカバリートーク)



(SC2 : 受講者によるサイエンスイベント)



大学生のための自然史講座

日本列島の自然史について、当館の研究者を中心に様々な分野からアプローチする講座です。自然史教養的な内容ですので、理工系学部以外の方でも科学や自然史に対する興味の幅を広げることが可能です。令和7年度は、全9回をオンラインで実施予定です。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・受講料通常18,900 円のところ9,500 円で受講いただけます。(予定)

※隔年で開講。

※開催時期等詳細については、令和7年6月頃に発表予定です。

講座内容一覧(令和5年度)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ☐ 自然史を意識することで自分をちょっと変えてみよう！ ☐ クモ類分布からみた日本の島々 ☐ 海の動物の多様性と系統分類 ☐ 新生代の気候・海洋変動 | <ul style="list-style-type: none"> ☐ 日本列島にやってきた人々 ☐ なぜ日本のランは希少になったのか？ ☐ 哺乳類の進化史 ☐ 日本と地震と火山と津波 ☐ 共生生物「地衣類」の多様性 |
|---|---|



大学生のための科学技術史講座

日本の科学技術史に関して、主に当館の研究者が講師となり、様々な分野からアプローチする講座です。令和6年度は全6回をオンラインで実施しました。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・入会校の学生は通常の半額で受講いただけます。

※隔年で開講。(令和7年度は開講しません。)

講義内容一覧(令和6年度)

【日本の科学技術】

- ☐ 日本の科学技術・産業技術の概論
- ☐ 日本の近代建築
- ☐ ことばの科学史——日本と西洋科学の出会い
- ☐ 日本の航空機保存・展示の現状
- ☐ 産業技術史の視点からSDGsを考える
- ☐ 博覧会からみる日本の近代化と科学技術





学芸員資格取得のための博物館実習

博物館学芸員の資格取得を目指す学生のために、主に調査研究・資料の収集保管について実習を行うAコースと、主に学習支援活動について実習を行うBコースの2コースを設けています。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・実習費通常12,480円のところ7,250円で受講いただけます。

※対象は大学生または大学院生です。

※例年1月末～2月上旬頃に各大学宛に募集のご案内をしています。

実習風景一例（令和6年度）



Aコース例：植物標本管理の実習



Bコース例：資料を介したコミュニケーション活動の実践



見学ガイダンス

大学のオリエンテーションや講義で国立科学博物館を利用してもらい、学生の皆様に博物館の楽しさや面白さ、見学方法を知ってもらうガイダンスを行っています。

映像の貸し出しによる遠隔の見学ガイダンスにも対応しています。来館前にあらかじめガイダンスを視聴していただいた上で、学生各自でご見学いただくこともできますので、ぜひご検討ください。

- ・入会校のみご利用いただけます。
- ・別途料金等は必要ありません。（無料でご利用いただけます）

〈博物館でのガイダンスの場合〉

※一度に受け入れられる人数に制限があります。

※実施は国立科学博物館各施設の平日の開館（開園）日となります。（8月のはのぞく）

※会場利用は1団体当たり1日2時間以内となります。

※各入会校につき年2回までの実施です。

ガイダンスの内容例（令和6年度）

- ☐ 国立科学博物館の概要
- ☐ 博物館の研究活動
- ☐ 標本・資料の収集・保管について
- ☐ 学習支援活動
- ☐ 新入生オリエンテーション



3. 連携事業



大学パートナーシップ&お茶の水女子大学 連携事業 —海の自然史学的研究—

自然史に関する実習の機会をより広く提供するため、平成28年度より行っているお茶の水女子大学との連携事業で、**大学パートナーシップ入会校の学生の優先枠を設け、参加者を募集いたします***。令和7年度は、お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所（千葉県館山市）にて、宿泊を伴う対面実習を実施予定です。

募集対象：大学の生物学関連学科に所属する学部学生

大学の自然科学系に所属する大学院生

実施時期：令和8年2～3月頃を予定

費用：5泊程度の宿泊費・食費で1万円程度です。実習場所までの交通費は自己負担となります。

*実施概要等詳細は、募集人数や具体的な実習内容を含め、決まり次第ウェブサイトでお知らせします。

※お茶の水女子大学の特別聴講学生としての参加となります（「公開臨海実習（2単位）」履修相当）。
学生教育研究災害傷害保険（もしくはそれに相当する保険）への加入が必要です。

主な実習内容（令和6年度）

1. 多様な環境（岩礁、砂泥底、海中など）に生息する海産動物の採集法
2. 自然史博物館の活動、研究用標本の作製や保存法
3. 新口動物の比較形態学……棘皮動物、頭索動物（ナメクジウオ）
4. 海産動物の生活史……ウニをモデルに幼生から五放射体制の成体へ
5. 紐形動物門の系統分類と多様性
6. 海産貝類の分類学的研究
7. 魚類の系統分類学と形態学
8. 海綿動物のバイオミネラリゼーション
9. 相模湾の深海性生物……特にフクロウニ、ガラス海綿、および、ウミユリ類について（講義）



利用者の声

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」利用者の声

本制度により当館を利用された学生のみなさまを対象としたアンケートでは、制度及び展示等に対するご好評を多数いただきました。その一例をご紹介します。

(令和6年11月～令和7年1月、国立科学博物館上野本館にて大学パートナーシップ制度を利用し入館した学生を対象にオンラインアンケート調査を実施。)

〈「大学パートナーシップ」制度について〉

- ☐ とてもいい制度だと思います！かかる費用の面での敷居が低くなるだけで、一気に好きになります。(大学1年)
- ☐ この制度がなければ博物館に行こうと思うきっかけがなかったため、非常に良い制度だと思う。もうすぐ社会人になるが、大人になってからも定期的に来たいと思うきっかけになった。(大学4年)
- ☐ 博物館はとても好きなのですが、金銭的に頻繁に行けないので、このような制度があってとてもありがたいです。(大学3年)

〈当館をご覧になった印象、感想など〉

特別展「鳥 ～ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統～」(令和6年11月～令和7年2月開催)について

- ☐ 多様な鳥の種類だけでなく、その構造や歴史的な進化の過程、目(もく)ごとの特徴やその生態についてとても詳しく展示されており、さらに鳥について興味をそえられる展示でした。(大学3年)
- ☐ 鳥展とても面白かったです。文系学生ですが、一緒に行った友人とたくさんのお話が出来ました。(大学4年)

企画展「貝類展：人はなぜ貝に魅せられるのか」(令和6年11月～令和7年3月開催)について

- ☐ 今まであまり興味がなかったのですが、貝類の分類について実際の標本とともに見ることができ、大変勉強になりました。特に多種多様な色や模様がある貝を初めて見て興味を惹かれました。(大学院生)

常設展示について

- ☐ 地球館のB3フロアが特に好きです。たくさんの偉大な先生方のパネルやノート、VTRなど勉強になるものばかりだと思います。また、たくさんの実際に触れて学べる展示がいいなと思います。(大学院生)
- ☐ フロアによって展示される内容がガラッと変わるから今日見たいものを好きに見られるのが良い。特に地球館3階の剥製の展示が好き。(大学4年)
- ☐ 常設展、地球館一階の展示が特に大好きで特別展で来ても絶対に来ます。系統広場の真核生物などの目に見えない生物の模型が変わった姿をしていて、その透明感なども大好きです。(大学2年)
- ☐ その分野を知らない人にも分かりやすく、興味を引くような展示をしているので大好きな博物館のひとつです。(大学3年)

上記の感想にみられるように、多くの方からご好評をいただいております。

全ての学生の科学リテラシー向上に資するという、本制度の趣旨をご理解いただき、ぜひともご入会をご検討下さいますようお願い申し上げます。

また、積極的利活用のために、貴学ウェブサイト、SNS、学生便覧等でご紹介いただけましたら幸いです。

ご入会について

「国立科学博物館大学パートナーシップ」にご入会を希望される場合は、以下の項目をご確認の上、お手続きください。 **継続して入会を希望される場合も、お手続きが必要です。**



申込み単位

大学、短期大学、専修学校（専門課程）及びそれらを設置する法人を単位とした申込となります。学部・学科でのお申込についても、ご相談に応じます。



会員証

入会した大学・学校には、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行します。



入会期間

令和7年4月1日（火）から令和8年3月31日（火）までとします。

※年度途中の新規入会の場合は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」発行の日から令和8年3月31日（火）までとします。



年会費

年会費は以下の表のとおりです。

学生数 会費区分	1千人未満	1千人以上 2千人未満	2千人以上 5千人未満	5千人以上 1万人未満	1万人以上 5万人未満	5万人以上
新規	157,150円	209,520円	261,900円	471,430円	942,850円	1,466,670円
継続	136,190円	188,570円	240,950円	419,050円	838,100円	1,309,520円

〈学生数について〉

- ・学生数は、申込時直近の学校基本調査（文部科学省指定統計）に基づく在学者数とします。
- ・学生数には、大学院生、通信制課程、科目履修生等を含むことができます。
- ・キャンパスの所在地が東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県以外の場合は、そのキャンパスに所属する学生数を2で除して得た人数（その人数に小数点以下の端数が生じたときは小数点以上に切り上げた人数）を学生数とします。

例）東京上野キャンパス4,000人＋（沖縄キャンパス500人÷2）＝合計4,250人

☆「継続」の会費は、ご入会いただいた翌年度の入会から適用します。

☆新規入会に限り、年度途中の入会にかかる当該年度の会費については、表の該当する年会費を12で除して得た額（その額に10円未満の端数が生じたときは10円に切り上げた額）に、入会日の属する月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とします。



申込み手順

申込の準備

＜ご準備いただく書類＞ 以下の書類をご準備ください。

①入会申込書

※「入会申込書」はP11をコピーしてご利用いただくか、大学パートナーシップのウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

②学生証の見本

③学校基本調査（お申込み時直近のもの）の在学者数が明記された部分の写し

※「学校基本調査」は、大学パートナーシップの対象とする学生の区分が全て明記されているものをご準備ください。

④学校要覧・入学案内等（新規ご入会校のみ）

申込書の送付

上記①～④を、申込み締切日までに、下記担当までお送りください。
（メールでの送付も受け付けています。）

★「入会申込書」の受理を、申込書に記載の担当者様宛にメールでお知らせします。入会日（令和7年4月1日）以降、大学パートナーシップ会員の特典をご利用ください。

会員証等の送付 （5月頃）

「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」と、学生数に応じた年会費の「請求書」を担当者様宛にお送りします。（5月頃の発送を予定しています。）

年会費のお振込み （5月～6月頃）

「請求書」が届きましたら、記載された年会費を請求書の発行より1ヶ月を目途に当館指定の口座にお振込みください。



申込み締切日

新規・継続ともに 「入会申込書」等の送付：令和7年3月7日（金）まで

新規申込の場合

- ・締切日までにお申込みいただければ、4月1日から会員特典（学生の無料入館等）がご利用いただけます。まずは入会希望の旨を電話またはメールにてご連絡ください。
- ・締切日以降のお申し込みにつきましては、別途ご相談を承ります。

継続申込の場合

- ・在学生の皆様引き続き入会校特典をご利用いただくため、お早めにお手続きください。
- ・書類が締切日に間に合わない場合は、下記担当まで電話またはメールでご連絡ください。
- ・年会費の振込時期につきましては別途ご相談を承ります。



大学パートナーシップ
ウェブサイト



申込み・お問い合わせ先

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

独立行政法人 国立科学博物館 学習支援部 学習課「国立科学博物館 大学パートナーシップ」担当

電話：03-5814-9195 E-mail: upartner@kahaku.go.jp

*当館ウェブサイトでも、本制度を紹介しております。

令和7年度 国立科学博物館 大学パートナーシップ入会申込書

年 月 日

独立行政法人 国立科学博物館長 殿

国立科学博物館 大学パートナーシップに下記のとおり申し込みます。

フリガナ		
大学名・学校名		
フリガナ		
学長名・校長名		
種 別 ※該当する□にチェックを入れてください	☐ 大学 ☐ 短期大学 ☐ 専修学校(専門課程)	
対象となる学生の区分	☐ 大学院 ☐ 学部・本科 ☐ 専攻科 ☐ 別科 ☐ 科目等履修生・聴講生・研究生 ☐ 通信生 ☐ 夜間	
学 生 数	(1)東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県のカンパスに所属する学生()人 (2)上記以外に所在するカンパスに所属する学生()人 ※お手数ですが、(1)+(2)÷2を学生数の合計としてご記入ください。 合計 人(年 月 日現在)	
年 会 費	円	
事務担当	所属部課	
	フリガナ	
	氏 名	
	所 在 地	〒
	連 絡 先	TEL FAX E-mail
ウェブサイトアドレス		※当館ウェブサイトから大学パートナーシップ校としてリンクしてよければご記入下さい。 (または昨年度からの変更があればご記入ください)
貴学学生のご利用数の報告ご希望		※メールで、貴学学生のご利用状況をお知らせします。受け取られる頻度をご指定ください。 ①年度ごと ②月ごと ③その他() ④希望しない
見積書発行のご希望		※年会費の見積書の要不要についてご回答ください。 ①見積書の発行なし(請求書のみお送りします) ②見積書の発行あり(請求書と見積書をお送りします)
その他連絡先		※企画展・特別展、各種講座等のご案内を別キャンパスなどに別途お送りしてよろしければ、ご記入下さい。

この入会申込書に、以下の3点を添えて国立科学博物館 学習支援部 学習課へ送付下さい。

- 1 学生証の見本(カラーコピー可) ※前年と変更がない場合はお送りいただく必要はありません。欄外にその旨、付記下さい。
- 2 学校基本調査(お申込時直近のもの)の、在学者数が明記された部分の写し
※対象となる学生の区分(聴講生等)が全て明記されているもの
- 3 学校要覧・入学案内等 ※新規ご入会校のみ